
令和7年度 天竜川上流 河川管理レポート



笑顔、きらきら、天竜川。

天竜川上流河川事務所

目 次

1. 天竜川上流の概要 1

1－1. 天竜川の概要

1－2. 流域治水について

2. 河川維持管理の取り組み 3

2－1. 河川維持管理の目標

2－2. 河川維持管理の主な内容

2－3. 河川の状況把握（水文・水質観測）

2－4. 河川の状況把握（河川巡視）

2－5. 河川の状況把握（堤防除草）

2－6. 河川管理施設の点検（堤防点検）

2－7. 河川管理施設の点検（直轄樋門・樋管の点検）

2－8. 河道の維持管理

2－9. 不法行為への対応

3. 水防・防災に関わる取り組み状況 12

3－1. 水防連絡会

3－2. 近年の出水概要

3－3. 河川合同巡視

3－4. 災害対策車に関わる取り組み

3－5. 許可施設の搬出訓練

3－6. 水位計・河川監視カメラ

3－7. 重要水防箇所・水害リスクに関する情報発信

4. 地域と連携した活動 19

4－1. 河川清掃（河川愛護月間）

4－2. 水質事故に対する取り組み①

4－3. 水質事故に対する取り組み②

4－4. 天竜川総合学習館「かわらんべ」

4－5. 公募型河道内樹木伐採

4－6. 水生生物調査

4－7. 2025伊那市環境展で水生生物を展示

4－8. ツツザキヤマジノギクの保全活動

4－9. ミヤマシジミ研究会との協調

4－10. 河川協力団体

1. 天竜川上流の概要

1-1. 天竜川の概要

天竜川は、長野県茅野市に位置する八ヶ岳連峰を源に、一度諏訪湖に集まり、釜口水門から流れ出します。その後、三峰川、小渋川等の支川を合わせながら、西に中央アルプス（木曽山脈）、東に南アルプス（赤石山脈）に挟まれた伊那谷を流れます。飯田市の天龍峡からは山間部を流下すると静岡県の遠州平野を南流し、遠州灘に注ぎます。幹川流路延長213km、流域面積5,090km²の一級河川です。

天竜川上流河川事務所では、長野県上伊那郡辰野町から下伊那郡天龍村（静岡県境）までを管理区間としており、流域面積3,704km²、流域市町村人口は約53万人※です。

【天竜川上流河川事務所 管理延長】

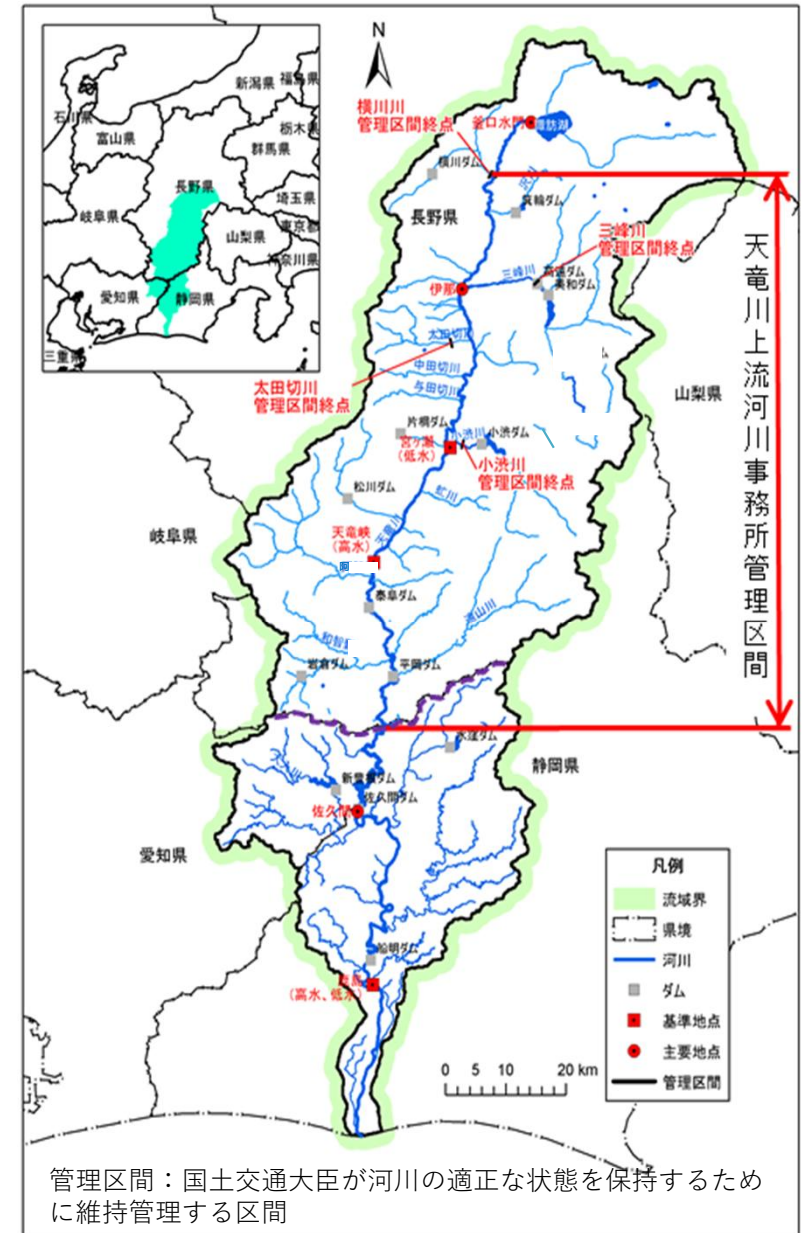
天竜川本川 110.6km

支川：三峰川 10.8km、太田切川 2.1km

横川 0.2km、小渋川 3.1km



参考資料：長野県HP国勢調査<https://www.pref.nagano.lg.jp/tokei/tyousa/kokucho.html>
政府統計の総合窓口 <https://www.e-stat.go.jp/>（※R2国勢調査より）



1. 天竜川上流の概要

1-2. 流域治水について

流域治水の理念

気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があります。

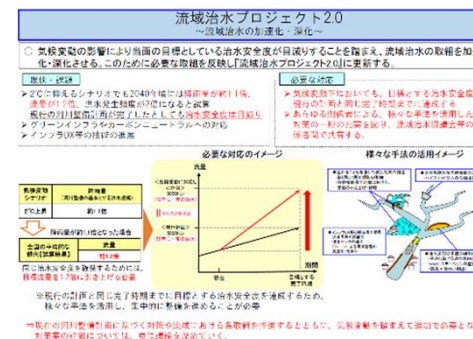
「流域治水」とは、堤防整備、ダム建設・再生、砂防堰堤の整備等の対策をより一層加速させるとともに、さらに集水域（雨水が河川に流入するエリア）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。



流域治水対策のイメージ図

天竜川水系の流域治水に関する取り組み

○天竜川上流 流域治水プロジェクト2.0 (令和6年3月公表)

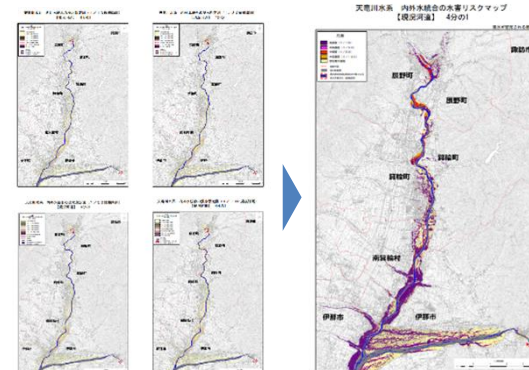


○令和7年度 天竜川上流 流域治水協議会を開催

流域治水プロジェクトを計画的に推進するため、今年度の取組状況の情報共有と、今後の取組の参考となるよう具体的な取組事例の紹介を実施しました。



○内外水統合版水害リスクマップ (令和7年度 作成)



開催日：令和8年2月25日
会場：Web・対面開催
参加者：流域24市町村、
長野県、国土交通省

2. 河川維持管理の取り組み

2-1. 河川維持管理の目標

河川に必要な「治水」・「利水」・「環境」の機能を保持するために、過去の経験・課題等を踏まえ、以下に示す3項目の河川維持管理における目標を設定しています。

洪水による災害の防止

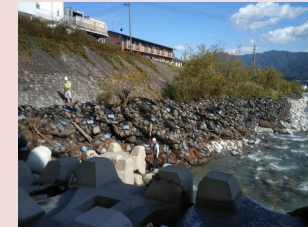
1) 洪水に対応した河道管理

洪水等による災害の発生防止または被害軽減のため、確保された流下能力を維持することを目標とし、「河道流下断面の維持」「堤防形状の維持」に努めます。

2) 施設の機能維持

河川特性を踏まえて、河川管理施設の巡視・点検・修繕を行い、施設の機能を適切に保持しています。

○対象管理施設：堤防、護岸、樋門・樋管、観測施設、許可工作物等



堤防欠損
応急復旧



ゲート
設備点検

河川区域等の適正な利用

河川が適正に利用されることを目標とし、河川区域内の不法占用や不法行為（ゴミの投棄等）の防止、また啓発に努めます。



不法行為（ゴミ等の投棄）

河川環境の整備と保全

生物の生息環境、河川利用、河川景観の状況等を踏まえ、豊かな自然環境に配慮した河川環境の整備・保全を目的とし、地域、関係機関と連携し、良好な河川環境へ維持・形成に努めます。



特定外来植物の駆除作業

2. 河川維持管理の取り組み

2-2. 河川維持管理の主な内容

河川の維持管理は、『天竜川上流河川維持管理計画』に基づき、水害を防止するため、除草や河川巡視、河川管理施設の点検等により河川の状況把握を行い、施設の補修・更新や流下能力の確保など必要な維持管理対策を実施しています。

河川の状況把握実施



水文観測機器点検



環境調査



河川巡視



堤防点検



通信設備点検



機械設備点検

維持管理対策の実施



堤防除草



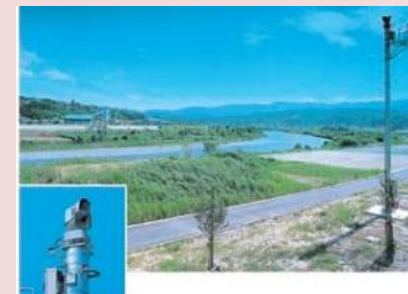
伐採・除根



堆積土砂排除



不法行為に対する注意喚起



防災情報の共有化



河川管理施設の修繕

2. 河川維持管理の取り組み

2－3. 河川の状況把握

■水文・水質観測

水文観測（雨量観測、水位観測、高水流量観測、低水流量観測）、水質観測は、治水・利水・環境といった総合的な河川管理を行っていくために、河川状況などの基礎的データを把握する重要な業務です。また、大雨の際には、河川の状況を把握し、水位が上昇してきた場合は、避難誘導や水防活動に資する情報発信（洪水予報や水防警報）にも活用されます。このため、各観測所が正確に雨量や水位を観測するために、年間を通して水文観測所の保守点検を行っています。

■取り組み状況

令和7年度は、水文水質観測、河道状況把握調査、水文観測施設の点検等を実施しました。

種別	実施項目	実施箇所	頻度	実施方法	備 考
水文観測	雨量観測	30地点	常時	自記観測＋テレメータ	毎10分
	水位観測	10地点	常時	自記観測＋テレメータ	毎10分
	高水流量観測	4地点 (伊那富、伊那、宮ヶ瀬、時又)	出水時	現地観測（浮子） 伊那富、伊那、宮ヶ瀬、時又	
	低水流量観測	4地点 (伊那富、伊那、宮ヶ瀬、時又)	年24回	現地観測（電磁流速計）	
水質観測	採水分析	天竜川（8地点）	月1回	現地採水	三峰川 1地点含む
	底質分析	天竜川（吉瀬ダム）	年1回 (7月)	現地採取	
水文観測施設の点検	定期点検	水文観測施設 (雨量30箇所、水位10箇所)	月1回	現地点検	
	総合点検		年1回 (5月)	現地点検	

2. 河川維持管理の取り組み

2-4. 河川の状況把握

■河川巡視

河道、河川管理施設及び許可工作物の状況把握、河川区域等における不法・不正行為の把握、不正使用に関する情報収集および河川の自然環境等に関する情報収集を目的に、河川巡視を行っています。平常時には一般巡視として週2回の頻度で実施しています。出水時には、氾濫注意水位を上回る出水が発生した場合、水位が上回った箇所の上下流で巡視を実施しています。

異状を発見した場合は、維持修繕工事や施設の補修・更新等を行い、不正使用があった場合は、改善指導等を随時実施しています。

実施項目		実施頻度
平常時	一般巡視	週2回
	目的別巡視	年10回程度
出水時	出水時等巡視	氾濫注意水位を超過時 に対象区間を実施



巡視の様子



不法投棄状況確認



河川の利用状況確認



不法占用状況確認

2. 河川維持管理の取り組み

2-5. 河川の状況把握

■堤防除草（堤防点検のための環境整備）

毎年堤防の状態把握及び環境整備として、堤防・高水敷の除草を実施しています。

ラジコン除草機による除草のほか、急傾斜等作業車で作業出来ない箇所については、刈払機による除草を行っています。

■取り組み状況（令和7年度）

実施場所	除草面積（m ² ）
伊那流域治水出張所管内	約711,800
伊南流域治水出張所管内	約785,000
飯田河川出張所管内	約746,000



除草（刈払機）



除草（ラジコン除草機）



集 草

堤防除草作業の様子

2. 河川維持管理の取り組み

2－6. 河川管理施設の点検

■堤防点検

点検とは、点検対象となる河川管理施設の治水上の機能について、異常および変化等を発見・観察・計測等することを目的として行うものです。維持管理計画に基づき、堤防・護岸等点検及び、河川管理施設の点検を実施しています。

堤防点検では徒歩による目視または計測機器を使用し、堤防・護岸等の変状の把握、具体的な点検を実施します。

出水期前点検では、直轄管理施設だけでなく、許可工作物についても、施設管理者とともに合同点検を行っています。



堤防点検・河川管理施設の点検作業の様子

2. 河川維持管理の取り組み

2-7. 河川管理施設の点検

■直轄排水樋門・樋管の点検

維持管理計画に基づき、機械設備を伴う河川管理施設の点検を実施しています。

○機械設備の点検

直轄樋門・樋管にある機械設備は、専門業者による詳細な点検を年1回、出水期前に実施しています。

○操作員による定期点検

直轄排水樋門・樋管は、操作員により5月～10月までの出水期は月2回、非出水期は月1回、操作に支障がないかの確認を実施しています。

○排水樋管操作講習会の実施

直轄排水樋管・樋門を適正に操作して、浸水被害が生じないための操作講習会を、操作者と合同で毎年出水期前に実施しています。



樋門操作講習会の様子（飯田市 祝井沢川排水樋門）



専門業者による機械設備点検

2. 河川維持管理の取り組み

2－8. 河道の維持管理

河道の流下断面を確保するために、流下能力の把握、河床の変化、樹木の繁茂状況を把握し、河川管理上支障のある箇所について、対策を講じています。

天竜川の河道は、ヤナギや帰化植物のハリエンジュを中心に樹林化が進行しています。

樹木があることにより流速が低下し、土砂堆積が助長されます。さらに、樹木繁茂と土砂堆積により流下能力が減少し、氾濫が発生しやすくなります。

樹木繁茂と土砂堆積を抑制するために、樹木伐採を実施しています。

■取り組み状況

河道内の樹木繁茂が著しい箇所を対象として、河川敷に繁茂した樹木を伐採しました。



伐採前



伐採後

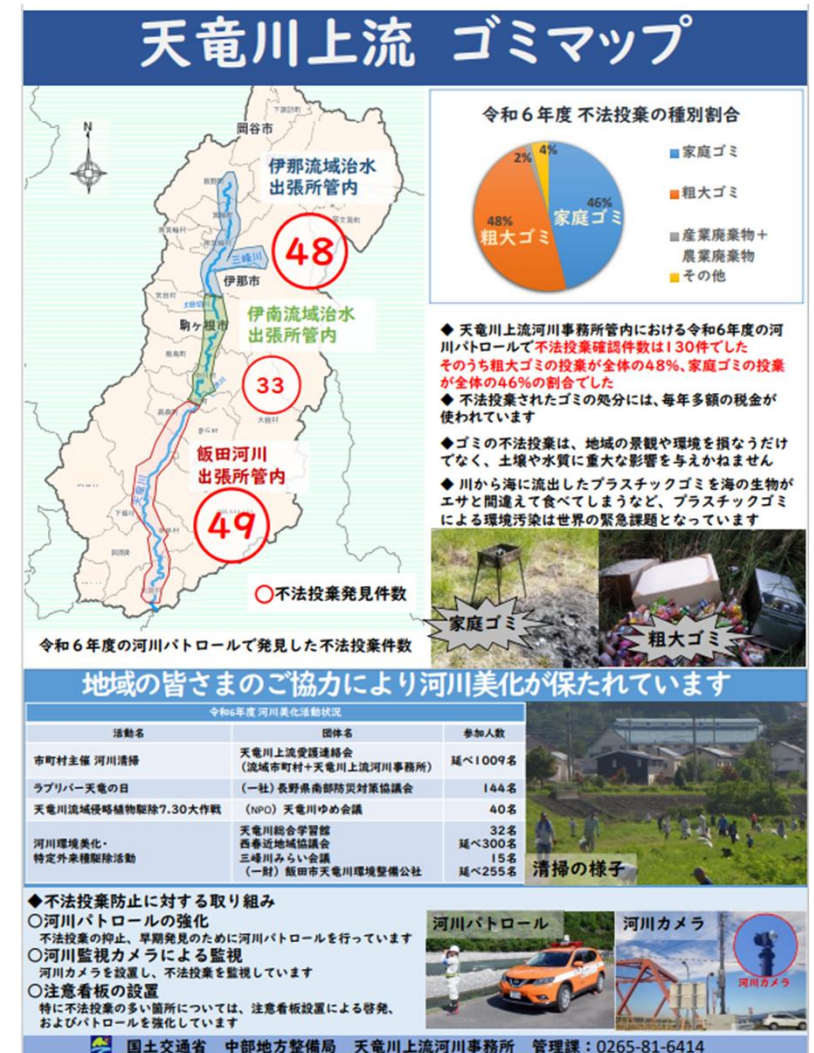
2. 河川維持管理の取り組み

2-9. 不法行為への対応

河川巡視の一環で河川内の不法投棄の監視を行い、看板設置等により注意・啓発を実施しています。天竜川の河川敷には粗大ゴミを含めた不法投棄が多数発生しています。こうした不法投棄の実態を知っていただくため、毎年ゴミマップを作成し啓発を行っています。



不法投棄多発箇所へ注意喚起看板を設置



天竜川上流ゴミマップ

3. 水防・防災に関わる取り組み

3-1. 水防連絡会

出水時における水防活動、あるいは関係自治体及び地域住民における避難に関わる活動等に資するよう、法令等に基づいて適切に洪水予報や水文データ等の情報提供を実施しています。また出水時の対応のため、所要の資材確保等に努めています。

出水期に備え、関係自治体及び関係機関と連絡体制の確認や、危険個所を情報共有するため水防連絡会の開催等を関係自治体の防災関係者と協働して実施しています。

■令和7年度 取り組み状況

4月に天竜川上流水防連絡会、5月に洪水対応演習を実施しました。

洪水対応演習では、出水時の情報伝達手段としてWEBシステムを用いたホットラインの訓練を実施しました。

【主な実施事業】

- 洪水対応演習
- 水防連絡会
- 重要水防箇所の河川合同巡視
- WEBホットライン試行訓練



水防連絡会



洪水対応演習の様子

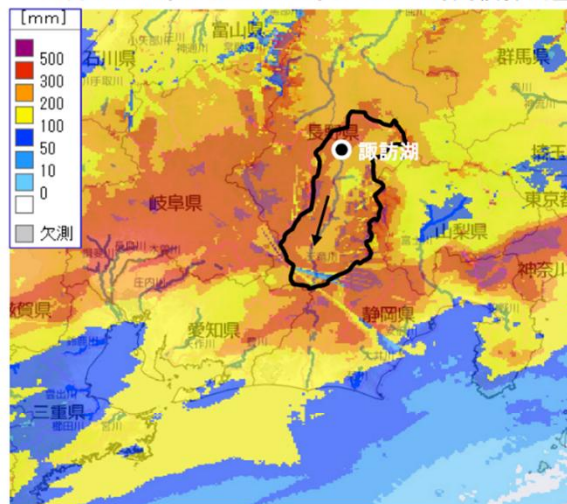
3. 水防・防災に関わる取り組み

3-2. 近年の出水概要 令和3年8月豪雨に伴う出水 雨量・水位状況

令和3年8月は本州付近に前線が停滞した影響で、長野県では激しい雨が断続的に降り続き、流域内の太田切雨量観測所で総雨量が500mmを超えるなどまとまった大雨となりました。また今回の出水では、洪水予報観測所※1の伊那富水位観測所で戦後4番目、沢渡水位観測所では平成18年7月豪雨を上回る戦後2番目に高い水位を記録し、共に氾濫危険水位※2を超過しました。8月15日午前10時頃、天竜川本川において河岸侵食により管理用通路の欠損（左岸208.2kp付近）等が確認され、河岸侵食の拡大を防ぐため、直ちに応急復旧および補強工事を実施しました。

○総降水量分布図

8月13日1時から15日13時までの60時間積算雨量



出典:国土交通省統一河川システム 累加雨量データより



太田切雨量観測所

洪水予報基準水位・水防警報基準水位観測所								単位:m
観測所名	既往最高水位	今回※1最高水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	出動水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位
伊那富 210.6kp	S58.9.28 2.76	8/15 4:50 2.66	1.00	1.50	2.20	2.40	2.60	3.12
沢渡 189.4kp	S45.6.16 2.05	8/15 5:50 1.80	0.50	0.90	1.30	1.40	1.60	4.41
市田 153.8kp	S39.9.25 3.10	8/15 0:50 1.62	0.70	1.40	2.00	3.30	3.60	4.81
天竜峡 139.0kp	S58.9.29 19.67	8/15 10:10 13.90	9.70	11.00	12.50	15.60	16.20	20.20

水防警報基準水位観測所						単位:m
観測所名	既往最高水位	今回※1最高水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	出動水位	計画高水位
北殿 198.7kp	H18.7.19 8.11	8/15 5:20 7.27	6.00	6.50	7.00	8.04
伊那 193.4kp	H18.7.19 4.44	8/15 5:30 3.81	3.50	4.00	4.50	5.55
下平 181.6kp	S57.8.2 3.49	8/15 7:00 3.30	2.20	2.40	2.60	4.70
伊久間 147.3kp	S32.6.28 4.10	8/15 1:00 2.41	1.40	1.70	2.50	6.24

※1 今回最高水位は速報値(10分単位) 水位の値は警報種別読み値



天竜川左岸208.2kp付近の被災と復旧

※1洪水予報観測所:水防法(10条2項)に基づき国土交通省と気象庁が共同発表する洪水に関する情報を取得する観測所

※2氾濫危険水位:住民に対し、洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こる恐れがある水位

3. 水防・防災に関わる取り組み

3-3. 河川合同巡視

梅雨・台風等の出水期に備え、自治体防災担当者をはじめ関係機関との河川合同巡視を実施しました。合同巡視では洗掘を受けやすい水衝部や、堤防が低い箇所、堤防の幅が不足している箇所といった「重要水防箇所」を確認し、出水時の巡視や水防活動が円滑に行えるように毎年実施しています。併せて各地の水防倉庫や備蓄資材を確認し、出水に備えています。

現地にて予想される被災状況や水防工法を共有し、洪水時の円滑な連携を確認しました。

伊那市



辰野町



駒ヶ根市



飯田市



令和7年度 河川合同巡視

実施日	場所	参加機関
5月15日(木)	辰野町	辰野町、長野県、消防団、警察署、消防署
	箕輪町	箕輪町、長野県、消防団、警察署、消防署
	南箕輪村	南箕輪村、長野県、消防団、警察署、消防署
5月16日(金)	高森町	高森町、長野県、消防団、警察署、消防署
	豊丘村	豊丘村、長野県、警察署、消防署
5月19日(月)	伊那市	伊那市、長野県、消防団、警察署、消防署
5月23日(金)	中川村	中川村、長野県、消防団、消防署
	松川町	松川町、長野県、消防団、警察署、消防署
5月28日(水)	飯田市	飯田市、長野県、消防団、警察署、消防署
5月29日(木)	宮田村	宮田村、長野県、消防団、消防署
	駒ヶ根市	駒ヶ根市、長野県、消防団、消防署
	飯島町	飯島町、長野県、消防署
5月30日(木)	喬木村	喬木村、長野県、消防団、警察署、消防署
	天龍村	天龍村、長野県、警察署、消防署

3. 水防・防災に関わる取り組み

3-4. 災害対策車に関わる取り組み

天竜川上流河川事務所では災害時に備え、災害対策車（排水ポンプ車3台、照明車2台、対策本部車1台、衛星通信車1台）を配備しています。これら車両は、実際の災害対応のほか、各市町村の水防訓練や小学校等のイベント等にて操作訓練や展示を実施しています。

令和7年度 災害対応・防災訓練などの実施状況

No.	日 付	場 所	名 称 等	使用災害対策車	備 考
1	5月24日	箕輪町 (箕輪町文化センター)	箕輪町BOSAIフェスタ	照明車1台 対策本部車1台	点灯作業 展開作業 (展示)
2	6月8日	松川町 (松川町営グラウンド)	松川町消防団総合演習	照明車1台 対策本部車1台	点灯作業 展開作業 (展示)
3	6月12日 6月13日	駒ヶ根市 (天竜川上流河川事務所) 中川村 (天の中川河川公園)	長野ブロック災害対策車操作訓練	排水ポンプ車2台 照明車2台 対策本部車1台	排水作業 点灯作業 展開作業
4	6月14日	高森町 (高森中学校)	高森町消防・防災フェス	照明車1台	点灯作業 (展示)
5	7月26日	飯田市 (天竜川総合学習館)	かわらんべ夏休みスペシャルDAY	照明車1台	点灯作業 (展示)
6	8月25日	箕輪町 (三日町頭首工)	三日町頭首工排水ポンプ車派遣	排水ポンプ車1台	排水作業
7	8月31日	駒ヶ根市 (赤穂小学校)	駒ヶ根市地震総合防災訓練	照明車1台 排水ポンプ車1台	点灯作業 (展示)
8	8月31日	伊那市 (美篤小学校)	伊那市地震防災訓練	照明車1台 対策本部車1台	点灯作業 展開作業 (展示)
9	10月19日	岡谷市 (岡谷市湖畔公園)	長野県総合防災訓練	照明車1台	点灯作業 (展示)
10	10月25日	大鹿村 (大鹿村役場)	塩川床固工群完成式	衛星通信車1台	通信作業
11	10月26日	泰阜村 (泰阜村役場)	泰阜村150周年イベント	照明車1台 対策本部車1台	点灯作業 展開作業 (展示)
12	11月7日	大鹿村 (大鹿村役場)	令和7年度 後期防災訓練	衛星通信車1台 対策本部車1台	通信作業 展開作業
13	11月15日	飯島町 (JA上伊那飯島支所)	第14回いいちゃん祭	対策本部車1台	展開作業 (展示)



長野ブロック災害対策車操作訓練



松川町消防団総合演習



三日町頭首工排水ポンプ車派遣



泰阜村150周年イベント



令和7年度 後期防災訓練
(対策本部車内)

3. 水防・防災に関わる取り組み

3-5. 許可施設の搬出訓練

天竜川等の河川敷で占用許可を受けて設置している施設について、出水前に確実に河川外へ搬出できることを確認するための訓練が、毎年、施設管理者により実施されています。

これは、河川敷に設置されている施設が出水時に放置されたままだと、河川の流水阻害となるだけでなく、施設の流出等により、下流にある他の施設や護岸等に甚大な被害をもたらす恐れがあるからです。

出水前の4～5月初、河川管理者の立会のもと実施され、撤去要領や撤去手順、施設の不具合箇所の有無なども確認しています。



訓練の様子（伊那市 高遠スポーツ公園）

■ 取り組み状況

安全利用点検（4月）

訓練対象施設のほか、出水時に浸水する恐れのある公園等を含めた計27箇所を施設管理者とともに点検しました。

令和7年度の搬出訓練は、高遠スポーツ公園（伊那市）及び天の中川河川公園（中川村）で実施しました。

○点検項目

- ・管理を行っている工作物の損傷の有無
- ・可搬式工作物、転倒式工作物等の搬出転倒等の可否及びそれに係る所要時間
- ・搬出経路の確認
- ・出水時の連絡体制、作業員の出動体制の確認
- ・その他



訓練の様子（中川村 天の中川河川公園）

3. 水防・防災に関わる取り組み

3-6. 水位計・河川監視カメラ

「川の防災情報」等において、河川の水位情報（基準水位観測所および危機管理型水位計）と河川のカメラ画像（CCTVおよび簡易型河川監視カメラ）を配信しており、地域住民の避難判断や状況把握に活用していただいています。

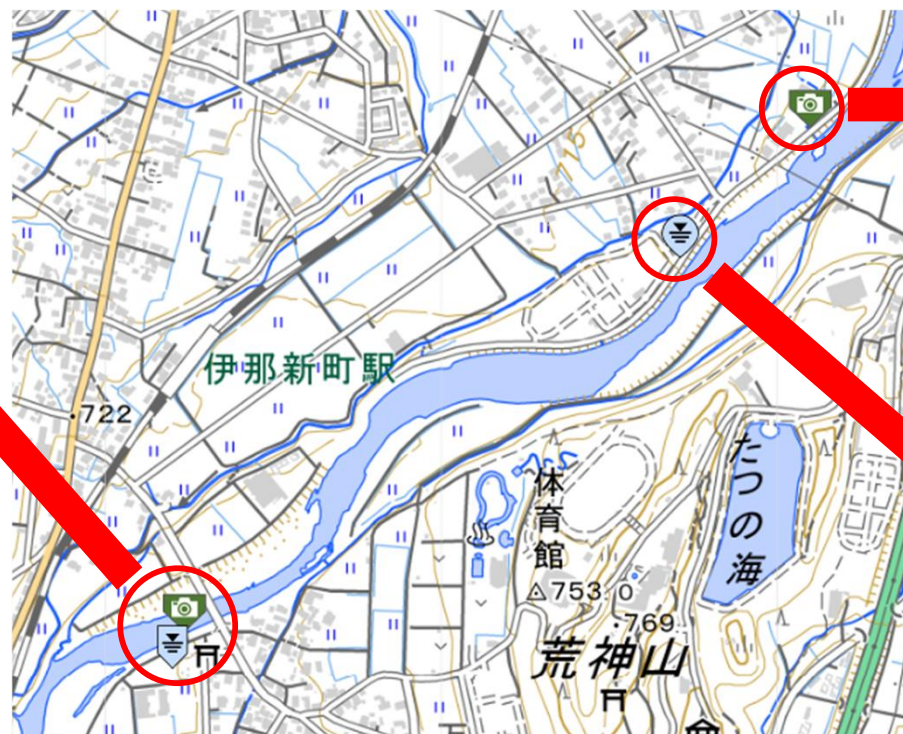
CCTVカメラ（35基）



水位観測所（10箇所）



水位やカメラ画像は川の防災情報等で公開しています。
(<https://www.river.go.jp/>)



簡易型河川監視カメラ（40基）



危機管理型水位計（80基）

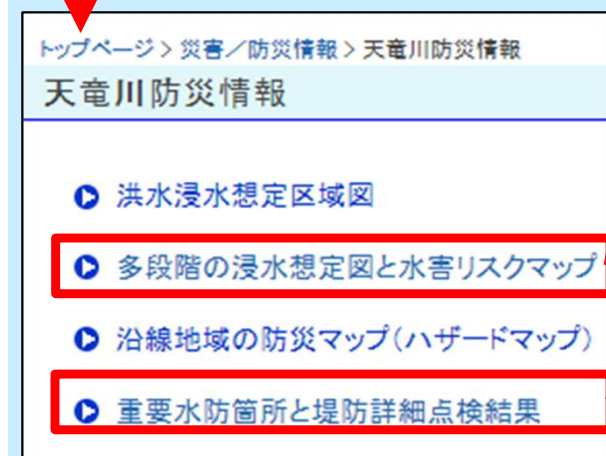
3. 水防・防災に関わる取り組み

3-7. 重要水防箇所・水害リスクに関する情報発信

洪水時に危険が予想され水防上重点的に巡視が必要な箇所を示した「重要水防箇所」や、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を示した「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」をホームページ上で公開しています。



天竜川上流河川事務所ホームページ



【多段階の浸水想定図、水害リスクマップ】

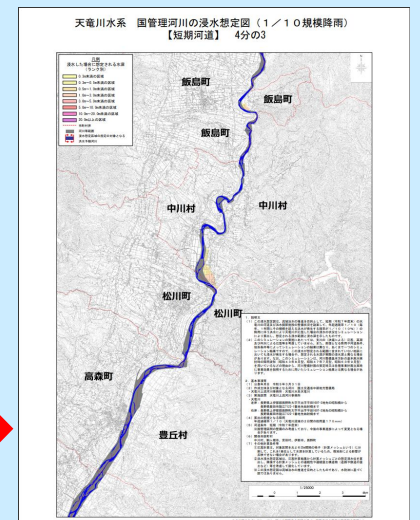
発生確率が高い降雨の場合に、想定される水害リスクを見えるようにした図です。

<天竜川水系 多段階の浸水想定図>

河道条件	降雨の年超過確率			
	1/10	1/30	1/50	1/100
現状 (令和3年10月時点) ※	●	●	●	●
短期整備後 (令和7年度末時点) ※	●	●	●	●
中期整備後 (令和14年度末時点)	●	●	●	●
中長期整備後 (令和21年度末時点)	●	●	●	●

<天竜川水系 水害リスクマップ>

河道条件	浸水深		
	浸水あり	50cm以上	3m以上
現状 (令和3年10月時点) ※	●	●	●
短期整備後 (令和7年度末時点) ※	●	●	●
中期整備後 (令和14年度末時点)	●	●	●
中長期整備後 (令和21年度末時点)	●	●	●

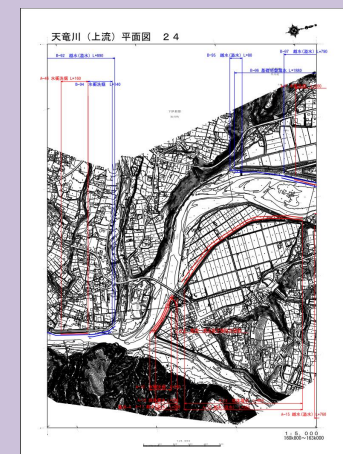


【重要水防箇所】

洪水時に洗掘・越水・漏水などの危険が予想される水防上重要な箇所のことをいいます。

市町村名をクリックすると、それぞれの重要水防箇所一覧表が表示されます。

市町村名(PDF)	市町村名(PDF)
● 天龍村	● 飯島町
● 飯田市	● 駒ヶ根市
● 喬木村	● 宮田村
● 豊丘村	● 伊那市
● 高森町	● 南箕輪村
● 松川町	● 箕輪町
● 中川村	● 辰野町



4. 地域と連携した取り組み

4-1. 河川清掃（河川愛護月間）

国土交通省では、国民の河川愛護意識を高めることを目的として、毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。天竜川沿川の市町村でも河川清掃及び特定外来植物駆除を計14箇所※で実施し、延べ1,031名が参加しました。（※6月・8月開催含む）

アレチウリ駆除の様子



河川清掃の様子



実施日	活動主催	実施場所	参加人数
6月29日(日)	飯田市 (下久堅地区)	天竜川左岸 親水マレットゴルフ場	116 人
7月3日(木)	中川村	天竜川左右岸 飯沼橋下流～天竜橋	56 人
7月5日(土)	飯田市 (竜丘地区)	天竜川右岸 竜丘水辺の楽校入口～久米川合流部	120 人
7月6日(日)	高森町	天竜川右岸 高森町親水公園付近～飯田米穀上流	110 人
7月6日(日)	豊丘村	天竜川左岸 万年橋下流～明神橋	120 人
7月9日(水)	駒ヶ根市	天竜川左右岸 太田切川合流部～丸塚公園	85 人
7月9日(水)	天龍村	天竜川右岸 平岡橋上流	23 人
7月12日(土)	宮田村	天竜川右岸 大久保ダム～太田切川合流部	31 人
7月13日(日)	松川町	天竜川左右岸 旧宮ヶ瀬橋～台城橋上流	72 人
7月17日(木)	飯島町	天竜川右岸 飯沼橋上下流	23 人
7月19日(土)	飯田市 (川路地区)	天竜川右岸 留々女川下流～梶沢川下流	60 人
7月26日(土)	三峰川 みらい会議	三峰川右岸 竜東橋下流（上新田公園付近）	13 人
7月27日(日)	天竜川 ゆめ会議	天竜川右岸 新宮川合流部（水辺の楽校付近）	30 人
8月2日(土)	南箕輪村	天竜川右岸 天竜橋下流～新水神橋上流	172 人
参加者合計（延べ）			1,031人

4. 地域と連携した取り組み

4-2. 水質事故に対する取り組み①

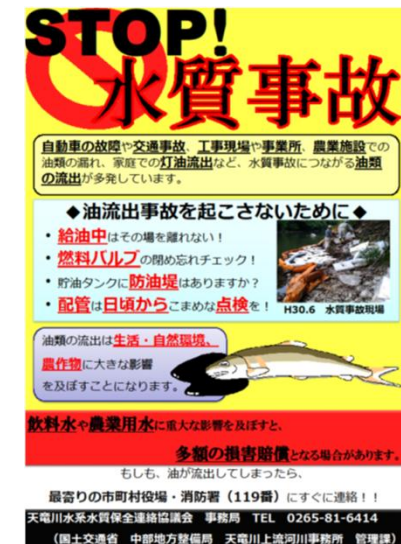
天竜川水系では、関係機関と連携して水質保全について効果的な取り組みを行うために「天竜川水系水質保全連絡協議会（上流部会）」を組織し、水質保全についての啓発や情報共有、油類の流出事故を想定した講習及び実動訓練を行っています。

■ 令和7年度 天竜川水系水質保全連絡協議会の活動

開催日	活 動 名	実 施 内 容
4月24日	天竜川水系水質保全連絡協議会（上流部会）	事故発生時の連絡体制の確認
7月14日	天竜川水系水質保全連絡協議会（委員会・幹事会）	令和6年度事業報告、令和7年度事業計画案
10月7日 8日	水質事故現地対策訓練	油類の流出事故を想定した講習及び実動訓練



水質事故現地対策訓練の様子



水質事故防止に関する啓発チラシ

4. 地域と連携した取り組み

4-3. 水質事故に対する取り組み②

水質事故が発生した時には、発生状況に関わる情報収集を速やかに行い、関係機関が連携して適切な対応を講じます。

■令和7年度に発生した水質事故について（令和8年2月27日時点）

水質事故の通報（情報提供含む）は26件あり、関係機関への情報伝達及び現地の対応を実施しました。

発生日	発生場所	事故内容・原因
4月17日(月)	飯田市	工事現場にて機械類の洗浄用処理水が王竜川へ流出
5月6日(火)	飯田市	自動車単独事故により、エンジンオイルが側溝を通じて毛賀沢川へ流出
7月28日(月)	駒ヶ根市	駒ヶ岳SAにてトラックがガードレールに衝突し、軽油が水路を通じて中田切川へ流出
7月30日(水)	伊那市	食品工場の汚泥が水路を通じて天竜川へ流出
8月4日(月)	岡谷市	トラックが橋梁欄干に衝突し、燃料が天竜川（指定区間）へ流出
12月25日(木)	飯田市	工場の燃料タンクが破損し、灯油が駒沢川から天竜川へ流出
2月12日(木)	伊那市	軽自動車単独事故により車両が古川に転落し、燃料が天竜川へ流出



天竜川上流管内水質事故通報（抜粋）

水質事故現地対応の様子
（関係機関によりオイルマットを設置）

4. 地域と連携した取り組み

4-4. 天竜川総合学習館「かわらんべ」

天竜川総合学習館「かわらんべ」は防災拠点として、いざという時に備える一方、平常時は天竜川上流域の自然環境や防災、災害の伝承などをテーマとした、子供から大人まで楽しく学べる体験講座等が、飯田市により開かれています。

令和7年度も、豊かな河川環境を活かした小中学校の校外学習の支援や、地域の講師による天竜川と人々の関りの学習をはじめ、地域と連携しての外来生物の駆除活動など、河川環境保全活動が精力的に行われています。



良好な河川環境を利用した野外学習



三六災害をテーマとした防災学習



小中学校の校外学習支援



リクエスト講座（シニア大学）



石ころアート しおり作り



外来植物アレチウリの駆除体験

4. 地域と連携した取り組み

4－5. 公募型河道内樹木伐採

公募型樹木伐採事業では、河道内樹木を伐採していただける協力者（企業・地域グループ等）を公募し、薪ストーブなどの燃料資源として活用していただく取組みです。樹木伐採を一般団体に協力いただくことで、河川管理者は河川維持にかかるコストを縮減が、協力者は薪ストーブやウッドチップ等の燃料資源として活用していただくことができます。

令和7年度は管内全6箇所を7団体に伐採作業を実施していただきました。



公募伐採の様子

No.	伐採箇所	Kp	団 体 名
1	飯田市上郷	右岸 148.2～148.4kp	シナリー
2	豊丘村神稲	左岸 151.6～151.8kp	薪ストーブ愛好会2025 ----- 赤須ヶ丘薪ストーブの会
3	豊丘村河野	左岸 157.0～157.2kp	森林ボランティア「森集人」
4	松川町生田	左岸 159.2～159.6kp	ポール薪
5	飯島町日曾利	左岸 172.2～173.0kp	樹輪
6	宮田村	中州 185.8～186.2kp	薪ストーブミドルの会

4. 地域と連携した取り組み



きれいな水に生息する
ヘビトンボ

4-6. 水生生物調査

毎年、天竜川本川及び支川の12地点において地域の皆様にご協力いただき、水生生物調査による水質判定を実施しています。令和7年度も多くの方からご応募いただき、全地点とも抽選により決定した合計401名の小学生とその保護者の方々にご参加いただきました。水質判定の結果は全地点とも「きれいな水」と判定されました。また、河川で遊ぶ際の注意事項など事故防止の啓発活動も行いました。



生物の採捕方法や指標生物の説明



生物の採捕状況



河川に棲む生物の生態の説明



採捕した生物をとりまとめて水質を判定



河川内の事故防止の啓発活動



調査結果のパネル展示

4. 地域と連携した取り組み

4-7. 2025伊那市環境展で水生生物を展示

「来て、見て、学び」の環境教育の参加体験イベント「2025伊那市環境展」（隔年開催）に出展しました。天竜川上流河川事務所からは「天竜川ミニミニ水族館」と題して、天竜川の生き物を見る・触ることができる展示をしました。展示では個体数が減っている在来種と増えている外来種の紹介、ヒゲナガカワトビケラによる川の浄化作用、上伊那地域のザザムシ漁が世界で唯一の水生昆虫食の伝統文化であることも紹介しました。



一見似ている在来種と外来種の比較展示



ヒゲナガカワトビケラの浄化作用
とザザムシ漁についての紹介



普段見ることのない大きなナ
マズと触れあう様子



生き物に触れあう様子

天竜川の河川敷で保護された推定10代半ばのクサガメも展示しました。
クサガメは外来種です。カメは思っている以上に長生きで、生き物を飼うときは責任を持って最後まで飼うことが大切であることを学んでもらいました。

- 主 催：伊那市
- 開 催 日：令和7年10月5日（日）
- 会 場：上伊那クリーンセンター
（伊那市富県）
- 来場者数：約730人

4. 地域と連携した取り組み



4-8. ツツザキヤマジノギクの保全活動

天竜川の礫河原に生息している『ツツザキヤマジノギク』は、世界で唯一この地域だけに見られる希少な植物で、松川町の天然記念物に指定されています。平成21年度から保全活動が行われ、平成29年度にはツツザキヤマジノギク保全協議会を発足、河原に生息する植物の理解を深めるために学識者から講義や指導をいただきながら、外来植物の駆除作業などの保全活動を地域主体で実施しています。

今年度は夏季は、暑い日が続いたため例年より開花が遅れており、10月の観察会で確認できた開花株は少なかったものの、筒状の株を含む多様な形の株を確認することができました。その後無事開花し、12月の種子採取作業では、各種類ごとにたくさんの種子を採取することができました。天竜川上流河川事務所は今後もツツザキヤマジノギクの保全活動に参加し、河川環境の把握と併せて地域との連携を進めていきます。



種まき



除草作業



花の観察会



種類ごとに種子を採取



ツツザキヤマジノギクが自生する礫河原を再現・保持



地元の学生が総合学習で利用し、観察会で成果を発表

【令和7年度の活動内容】

- 第17回保全協議会開催（前年度3月）
- 種まき（前年度3月）
- 除草・外来植物駆除作業
（5月、6月、8月、9月、11月）
- 花の観察会（11月）
- 種子の採取（12月）

4. 地域と連携した取り組み

4－9. ミヤマシジミ研究会との協調

管内には絶滅危惧ⅠB類の蝶であるミヤマシジミの生息が確認されている箇所があり、食草となるコマツナギが、護岸工事や堤防法面の除草工事によって失われることを極力防ぐための取り組みを実施しております。

天竜川上流河川事務所は「ミヤマシジミ研究会 幹事」兼「伊那ミヤマシジミを守る会 代表」岡村様と協力してミヤマシジミとコマツナギの保全活動をしております。



ミヤマシジミ



コマツナギ



打合せの様子

4. 地域と連携した取り組み

4-10. 河川協力団体

『河川協力団体制度』は、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を国土交通省が支援する制度で、当事務所管内では平成25年度から現在までに6団体が指定され、令和7年度も継続してワークショップや河川内樹木対策、外来植物の駆除等多くの河川の維持、河川環境の保全について活動して頂いております。
また、令和7年度に1団体が新規登録をされました。

天竜川上流（長野県内）河川協力団体

- ・一般社団法人 飯田市天竜川環境整備公社
- ・天竜川総合学習館
- ・特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議
- ・西春近地域協議会
- ・三峰川みらい会議
- ・一般社団法人 長野県南部防災対策協議会
- ・一般社団法人 南信防災情報協議会（新規登録）



南信防災情報協議会
(令和7年度新規登録団体)



かわらんべ講座 自然体験学習
(天竜川総合学習館)



河川環境保全思想普及活動
(飯田市天竜川環境整備公社)



河川美化活動
(西春近地域協議会)



三峰川フォーラム
(三峰川みらい会議)



天竜川シンポジウム
(天竜川ゆめ会議)



防災講習会
(南部防災対策協議会)